⑷　技術提案書の提出期限及び提出場所並びに提出方法

①　提出期限　平成30年９月21日（金）午後４時　持参する場合は、上記期限までの毎日（土曜日、日曜日及び祝日を除く）午前10時から12時まで、午後１時から４時まで。

・電子入札システムによる提出期限　平成30年９月21日（金）午後４時

・郵送等による提出期限（紙入札の承諾を得た場合）　平成30年９月21日（金）午後４時必着

②　提出場所　上記⑴①に同じ。

③　提出方法　電子入札システムにより提出すること。ただし、ファイル容量が２ＭＢを超える場合又は紙入札よる場合は、必要書類一式（電子入札システムとの分割は認めない。）１部を持参又は郵送等（書留郵便等の配達の記録が残るものに限る）すること。

⑸　入札及び開札の日時、開札場所並びに入札書の提出方法

①　入札日時　電子入札システムによる入札の締め切り　平成30年10月18日（木）午後５時

郵送等による入札の締め切り（紙入札の承諾を得た場合）　平成30年10月18日（木）午後５時必着

②　提出方法　電子入札システムにより提出すること。ただし、紙入札による場合は、上記⑴①まで郵送等（書留郵便等の配達の記録が残るものに限る）すること。

③　開札日時　平成30年10月19日（金）午前11時00分

なお、開札の結果、再度の入札を行うことになった場合、下記のとおり、２回目の入札を行う。

・電子入札システムによる入札の締め切り　平成30年10月25日（木）午後５時

・郵送等による入札の締め切り（紙入札の承諾を得た場合）　平成30年10月25日（木）午後５時必着

・開札日時　平成30年10月26日（金）午前11時00分

④　開札場所　阪神高速道路株式会社　建設・更新事業本部

５　その他

⑴　手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

⑵　入札保証金及び契約保証金　免除

⑶　入札の無効　本公示に示した競争参加資格のない者のした入札、参加表明書又は技術資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

⑷　落札者の決定方法　落札者の決定は、競争参加資格の確認がなされた者の中で上記３⑵の方法で決定するものとする。ただし、落札者となるべき者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、契約制限価格の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、最も評価値が高い者を落札者とすることがある。

⑸　手続きにおける交渉の有無　無。

⑹　契約書作成の要否　要。

⑺　関連情報を入手するための照会窓口　上記４⑴に同じ。

⑻　技術提案についてのヒアリングを実施する場合は、その実施日時及び場所等を別途通知する。

⑼　詳細は説明書による。

６　Summary

⑴　Official in charge of contract of the procuring entity : Hirohisa Imagi, Director of Construction and Renewal Management Headquarters of Hanshin Expressway Company Limited

⑵　Classification of the services to be procured : 42

⑶　Subject matter of the contract : An outline design work of the cut and cover tunnel of Hanshin Expressway

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. 17 August 2018

⑸　Time-limit for the submission of technical proposal documents : 4 : 00 P.M. 21 September 2018

⑹　Time-limit for the submission of tenders : 5 : 00 P.M. 18 October 2018

⑺　Contact point for tender documentation : General Affairs and Accounting Group Construction and Renewal Management Headquarters, Hanshin Expressway Company Ltd. 1―3―15 Awaza, Nishi-ku, Osaka-shi, Japan 550―0011 TEL 06―6535―9386

招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり購入等物品の調達を予定していますので、当該調達に関して資料等の提供を招請します。

平成30年８月２日

国立研究開発法人情報通信研究機構

契約担当理事　田尻　信行

◎調達機関番号　816　◎所在地番号　13

１　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　調達計画購入等物品及び数量　次世代自然言語処理システムのための計算機設備　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　調達予定時期　平成31年度第３四半期以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件　本計算機設備は、ディープラーニング計算システム、制御用システム、高速ストレージシステム、高速ネットワーク等およびシステムを運用するのに十分な無停電電源装置から構成される。

①　ディープラーニング計算システムは、複数の計算ノードから構成され、各計算ノードは、２基以上のＣＰＵおよび４基以上のＧＰＧＰＵを搭載していること。また、システム全体のＧＰＧＰＵ搭載数は200基以上であること。

②　ディープラーニング計算システムの各計算ノードが搭載する各ＧＰＧＰＵは、ＥＣＣ機能を備えた32ＧＢ以上のメモリを有していること。単一ＧＰＧＰＵでの理論演算性能は、単精度浮動小数点演算で、15ＴＦＬＯＰＳ以上であること。また、メモリバンド幅は、900ＧＢ／ｓ以上であること。

③　ディープラーニング計算システムの各計算ノードの主記憶容量は、768ＧＢ以上搭載していること。

④　制御用システムは、複数の制御用サーバから構成され、システム全体のログインノードやバッチ処理サーバ等を含む、システム全体の制御に必要な機能を有すること。

⑤　高速ストレージシステムは、１PiB以上の実効容量を有し、高速かつ高信頼な並列ファイルシステムを提供すること。また、すべてのサーバから高速にアクセスできること。

⑥　高速ネットワークは、25Gbps以上の帯域を有しており、すべてのサーバおよびストレージと接続すること。

⑦　オペレーティングシステムはＵＮＩＸに準拠し、ディープラーニング計算システムはバッチ処理機能を有すること。

⑧　ディープラーニング計算システムは、ＦＯＲＴＲＡＮ、Ｃ、Ｃ＋＋等の言語、ＭＰＩ等の並列プログラミング環境、開発環境およびディープラーニングのための各種ツール群を備えていること。

⑨　無停電電源装置を備えていること。

⑩　ハードウェアおよびソフトウェアの保守支援体制を備えること。

２　資料及びコメントの提供方法　上記１の⑵の購入等物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成30年９月11日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒619―0289 京都府相楽郡精華町光台３－５　情報通信研究機構総合テストベッド研究開発推進センターテストベッド連携企画室　田中　康司　電話0774―98―6878

⑶　説明書の交付方法　平成30年８月２日から平成30年９月11日まで、情報通信研究機構ホームページ調達情報よりダウンロードすること。

⑷　説明会の開催　なし。

３　その他　詳細は調達説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。